

教育委員会の
点検・評価報告書

平成29年4月
茂原市教育委員会

目 次

1	点検・評価の趣旨等	3
	(1) 趣旨	3
	(2) 目的	3
	(3) 対象	3
	(4) 点検・評価の流れ	3
	(5) 教育委員会構成員（平成 29 年 4 月 1 日現在）	4
2	教育委員会の活動状況	4
	(1) 教育委員会会議	4
	(2) 総合教育会議	7
	(3) 教育委員会会議以外の主な活動状況	7
3	各種施策について	9
	(1) 教育施策の大綱に基づく施策表	9
	(2) 教育方針及び重点施策	10
4	各施策の点検評価報告書	17
	1－(1) 学力の向上	17
	1－(2) 幼児教育・保育の充実	18
	1－(3) 読書活動の推進	19
	1－(4) 国際理解教育の推進	20
	2－(1) いじめ・暴力行為等の問題への取り組みの徹底	21
	2－(2) 道徳教育の推進	22
	2－(3) 学校・地域・家庭が一体となった教育の推進	23
	2－(4) 青少年の健全育成と家庭教育の充実	24
	2－(5) セーフティネットの構築	25

3－（１）芸術文化の創造と個性の伸長	26
3－（２）いつでも・どこでも・だれでも学べる場の提供	28
3－（３）変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学習支援	29
3－（４）スポーツ環境の充実	30
3－（５）スポーツ・レクリエーションの普及	31
4－（１）地域を担う人材の育成	32
4－（２）安全・安心な教育環境の確保	33
4－（３）文化財・伝統文化の維持、保存、活用の推進	34
4－（４）学校・家庭・地域連携によるコミュニティーの形成	36

1 点検・評価の趣旨等

(1) 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

茂原市教育委員会では、この規定に基づき平成 28 年度における事務の管理及び執行状況について点検・評価を実施します。

○ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

(2) 目的

教育委員会に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行うことで、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的とします。

(3) 対象

「茂原市教育施策の大綱」及び「平成 28 年度茂原市の教育方針及び重点施策」により進めた事業を対象として、点検・評価を実施いたしました。各事業の課題等を明らかにするとともに、今後の方向性について示しました。

(4) 点検・評価の流れ

- ① 担当課での報告書の作成
- ② 教育委員会による点検・評価
- ③ 改善への取組
- ④ 議会への報告
- ⑤ ホームページによる市民への公表

(5) 教育委員会構成員（平成 29 年 4 月 1 日現在）

役職名	氏名	任期
教育長	内田達也	平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
委員 (教育長職務代理者)	齋藤 晟	平成 26 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日
委員	鈴木 一代	平成 25 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日
委員	安藤 明子	平成 27 年 6 月 30 日～平成 31 年 6 月 29 日
委員	高貫 裕一郎	平成 28 年 10 月 1 日～平成 32 年 9 月 30 日

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議

平成 28 年度は、定例会 12 回と臨時会 1 回の合計 13 回開催しました。

また、教育委員会と教員との相互理解を深めるため、新任の学校教諭、新教頭を対象に教育委員会会議の傍聴、会議終了後の意見交換等も行いました。

① 開催回数（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）

	定例会	臨時会	計
回数	12	1	13

② 議決事項等

	開催日	議案番号及び議案名
4 月定例会	4 月 28 日	議案第 1 号 教科用図書長生採択地区協議会委員の選任について 議案第 2 号 学校評議員の委嘱について 議案第 3 号 茂原市教育支援委員会委員の委嘱について 議案第 4 号 茂原市社会教育委員の委嘱について 議案第 5 号 茂原市公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第 6 号 茂原市立図書館協議会委員の任命について 議案第 7 号 茂原市立美術館・郷土資料館協議会委員の任命について 議案第 8 号 茂原市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 議案第 9 号 平成 27 年度教育委員会の点検・評価報告書について (報告事項：7 件他)

	開催日	議案番号及び議案名
5月定例会	5月19日	<p>議案第1号 茂原市青少年指導センター運営協議会委員の委嘱について</p> <p>議案第2号 茂原市史編纂準備委員会設置要綱の制定について</p> <p>議案第3号 茂原市史編纂準備委員会委員の委嘱について</p> <p>議案第4号 教科用図書長生採択地区協議会委員の選任について</p> <p>議案第5号 和解について議会の議決を求めるよう市長に申し入れることについて</p> <p>(報告事項：4件他)</p>
6月定例会	6月30日	<p>議案第1号 茂原市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>(報告事項：7件他)</p>
7月定例会	7月28日	<p>議案第1号 平成29年度使用教科用図書の採択について</p> <p>議案第2号 茂原市立学校職員の人事評価に係る苦情の申出及び取扱いに関する要綱の制定について</p> <p>議案第3号 財産の取得について</p> <p>(報告事項：3件他)</p>
8月定例会	8月18日	<p>議案第1号 公立保育所・幼稚園整備計画の策定について</p> <p>議案第2号 茂原市学校再編計画審議会規則の制定について</p> <p>(報告事項：3件他)(新任教諭8名傍聴)</p>
9月定例会	9月29日	<p>議案第1号 平成28年度茂原市教育功労者被表彰者の決定について</p> <p>議案第2号 茂原市学校再編計画審議会委員の委嘱について</p> <p>議案第3号 茂原市立美術館・郷土資料館協議会委員の任命について</p> <p>議案第4号 茂原市文化財審議会への諮問について</p> <p>議案第5号 茂原市総合型地域スポーツクラブ設立検討委員会設置要綱の制定について</p> <p>(報告事項：3件他)(新任教諭他4名傍聴)</p>
10月定例会	10月27日	<p>議案第1号 茂原市総合型地域スポーツクラブ設立検討委員会委員の委嘱について</p> <p>(報告事項：4件他)(新任教諭7名傍聴)</p>
11月定例会	11月22日	<p>議案第1号 茂原市指定文化財の指定について</p> <p>(報告事項：6件他)</p>

	開催日	議案番号及び議案名
12月定例会	12月22日	議案第1号 茂原市教育委員会感謝状受賞者の決定について 議案第2号 茂原市立学校図書館・茂原市立図書館連絡会議設置要綱の制定について (報告事項：5件他)
1月定例会	1月26日	議案第1号 茂原市学校再編審議会条例を制定するよう市長に申し入れることについて 議案第2号 茂原市史編さん委員会条例を制定するよう市長に申し入れることについて 議案第3号 茂原市青少年指導センター運営協議会委員の委嘱について (報告事項：6件他)
2月定例会	2月14日	議案第1号 契約の締結について 議案第2号 茂原市社会教育関係団体事業補助金交付要綱の一部を改正する告示を定めるよう市長に申し入れることについて 議案第3号 茂原市立小学校、中学校及び幼稚園防犯カメラの設置及び管理運用に関する要綱の制定について 議案第4号 茂原市フッ化物洗口事業実施要綱を定めるよう市長に申し入れることについて 議案第5号 茂原市スポーツ大使設置要綱を定めるよう市長に申し入れることについて 議案第6号 茂原市学校給食センター建設基本計画の策定について (報告事項：5件他)
3月臨時会	3月10日	議案第1号 県費負担教職員のうち校長及び教頭の任免その他の進退に関する内申について 議案第2号 平成29年度教科用図書長生採択地区協議会規約の制定の承認について (報告事項：3件他)
3月定例会	3月23日	議案第1号 茂原市学校再編基本計画の策定について 議案第2号 茂原市通学区域審議会規則及び茂原市学校再編計画審議会規則を廃止する規則の制定について 議案第3号 茂原市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について 議案第4号 茂原市立美術館・郷土資料館管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について

	開催日	議案番号及び議案名
3月定例会	3月23日	議案第5号 茂原市史編さん委員会委員の委嘱について 議案第6号 茂原市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 議案第7号 茂原市スポーツ推進委員の委嘱について 議案第8号 平成29年度茂原市の教育方針及び重点施策について (報告事項：3件他)

(2) 総合教育会議

総合教育会議は、市長と教育委員会で構成され、市長と教育委員会が円滑に意思疎通を図り、本市における教育の課題及び目指す姿等を共有しながら、相互に連携して教育を推進することを目的としており、平成28年度は1回開催しました。

議題等（平成28年4月～平成29年3月）

	開催日	議案番号及び議案名
第1回	9月29日	(1) 茂原市学校再編計画について (2) 平成29年度予算編成に向けた教育施策に関わる協議 (3) 次回の日程等について

(3) 教育委員会会議以外の主な活動状況

教育委員は、教育委員会会議への出席の他に学校を訪問して教育現場の状況を把握するとともに、議案や教育課題などに対する理解を深め、多面的な角度から議論を行うため、教科書採択会議、関係団体等が主催する研修会及び総会等にも参加しました。

・学校訪問等

開催日	訪問先
平成28年6月13日	二宮小学校、本納小学校、緑ヶ丘小学校、富士見中学校、南中学校、豊岡幼稚園

・入学式

開催日	訪問先
平成28年4月7日	東中学校・富士見中学校・早野中学校・西陵中学校
平成28年4月8日	豊田小学校・茂原小学校・五郷小学校・新治小学校
平成28年4月11日	豊岡幼稚園・五郷幼稚園・新茂原幼稚園・中の島幼稚園

・卒業式

開催日	訪問先
平成 29 年 3 月 10 日	東中学校・茂原中学校・本納中学校
平成 29 年 3 月 15 日	五郷小学校・本納小学校・東部小学校・緑ヶ丘小学校
平成 29 年 3 月 16 日	豊田小学校・鶴枝小学校・新治小学校・豊岡小学校
平成 29 年 3 月 17 日	豊岡幼稚園・五郷幼稚園・新茂原幼稚園・中の島幼稚園

・教科書採択関係

開催日	内 容
平成 28 年 5 月 23 日	第 1 回教科書採択協議会
平成 28 年 7 月 11 日	第 2 回教科書採択協議会

・研修会等

開催日	内 容
平成 28 年 4 月 27 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会総会
平成 28 年 6 月 1 日	千葉県市町村教育委員会連絡協議会定期総会 並びに特別講演会
平成 28 年 10 月 18 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会要望書提出
平成 28 年 10 月 24 日	千葉県教育委員会・千葉県市町村教育委員会連絡協議 会共催第 1 回教育委員研修会
平成 28 年 10 月 25 日・26 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会研修会
平成 29 年 1 月 13 日	市町村教育委員研究協議会（文部科学省）
平成 29 年 1 月 24 日	千葉県市町村教育委員会連絡協議会 第 2 回教育委員研修会
平成 29 年 1 月 27 日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会研修会

・その他行事等

開催日	内 容
平成 28 年 11 月 3 日	教育功労者表彰式、文化祭巡回
平成 29 年 1 月 26 日	教育委員会感謝状贈呈式
平成 29 年 2 月 14 日	教育委員会学芸・体育功労者及び善行・篤行者表彰式

3 各種施策について

(1) 教育施策の大綱に基づく施策表

点検・評価は、茂原市教育施策の大綱に基づく施策について実施しています。

基本方針	施策の柱	主な担当課
1 社会を生き抜く力の育成	(1) 学力の向上	学校教育課
	(2) 幼児教育・保育の充実	
	(3) 読書活動の推進	学校教育課 生涯学習課
	(4) 国際理解教育の推進	
2 心を育む人間教育の推進	(1) いじめ・暴力行為等の問題への取り組みの徹底	学校教育課
	(2) 道徳教育の推進	
	(3) 学校・地域・家庭が一体となった教育の推進	学校教育課 生涯学習課
	(4) 青少年の健全育成と家庭教育の充実	生涯学習課 青少年指導センター
	(5) セーフティネットの構築	学校教育課
3 芸術・文化・スポーツの振興	(1) 芸術文化の創造と個性の伸長	生涯学習課 中央公民館
	(2) いつでも・どこでも・だれでも学べる場の提供	美術館・郷土資料館 東部台文化会館
	(3) 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学習支援	生涯学習課
	(4) スポーツ環境の充実	体育課
	(5) スポーツ・レクリエーションの普及	
4 茂原を愛する心の育成	(1) 地域を担う人材の育成	学校教育課 生涯学習課
	(2) 安全・安心な教育環境の確保	教育総務課
	(3) 文化財・伝統文化の維持、保存、活用の推進	生涯学習課 美術館・郷土資料館
	(4) 学校・家庭・地域連携によるコミュニティの形成	学校教育課

(2) 教育方針及び重点施策

茂原市教育施策の大綱により定めた平成 28 年度の教育方針及び重点施策は、次のとおりです。

平成 28 年度茂原市の教育方針及び重点施策

茂原市基本構想では、「次代を担う子どもたちを育て、すべての人が生涯を通し学習していくまち」を教育の基本テーマとして設定し、基本構想に基づき、前・後期各 10 年を計画期間とする基本計画により事業を進めてまいりました。

平成 28 年度以降は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 条の 3 第 1 項に基づき策定した『茂原市教育施策の大綱』に基づき、各種施策を展開してまいります。茂原市教育施策の大綱については、基本構想、基本計画に基づき、今後 5 年間における重点施策の基本方針を定めたものです。

また、事業の実施にあたっては、『茂原市教育施策の大綱』に基づき毎年度策定する「茂原市の教育方針及び重点施策」により進めてまいります。

基本方針 1

社会を生き抜く力の育成

(1) 学力の向上

問題解決的な学習を推進するとともに、学習支援員の配置、学校図書館の活用を通して、基礎・基本の定着と学んだことを活用し考え表現する力、自主的に学習する態度を育みます。また、教員の経験年数に応じた参加型の研修を充実させることにより、教員の資質向上を図ります。

【平成 28 年度の取り組み】

- ・ 特色ある学校経営と創意ある教育課程の編成に努め、各教科及び総合的な学習の時間や特別活動において、多様な体験活動を推進します。
- ・ 校長、教頭、教務主任、若年層教員の研修会や、茂原市教育研究協議会の研修において、自己の課題意識に基づいた自主的な研修を進め、教員の資質向上を図ります。
- ・ 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に努めます。
- ・ 小中学校の適正規模の維持を図るため、適正配置について検討します。

(2) 幼児教育・保育の充実

小学校に入学して集団行動ができない等の小 1 プロブレムを解消するため、基礎的な能力の育成を重視した教育課程を編成し、豊かな人間性を培う教育を推進するとともに、幼小連携を図る指導計画を作成し、幼児期から小学校生活に子どもがなじめるよう、就学前の教育・保育の充実に努めます。

【平成 28 年度の取り組み】

- ・ 基礎的な能力の育成を重視した教育課程を編成し、豊かな人間性を培う教育の推進に努

めます。

- ・小学校への円滑な接続を図るための、幼小連携の体制づくりを推進します。
- ・幼保一元化を見据え、幼稚園及び保育所の連携の推進に努めます。
- ・幼稚園の適正規模基準を定めるとともに4園の適正化について検討します。

(3) 読書活動の推進

「第三次茂原市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の総合的・継続的な推進を図るため、学校と図書館との情報交換等の場を設け、各学校の実態に合わせた読書環境づくりの改善に向けて、相互に協力する体制を整備します。

【平成28年度の取り組み】

- ・本に親しむ意欲と態度を育成する読書活動の充実に努めます。
- ・学校司書の配置を段階的に進め、図書館と連携を図りながら、読書環境づくりに努めます。
- ・学校図書館活動の推進に向けて、司書教諭等を対象にした勉強会や情報交換の場として「学校図書館・市立図書館連絡会議」を開催します。
- ・「(仮称)茂原市子ども読書活動推進会議」を設置し、第三次計画の進捗状況を点検すると共に、未達成な施策等に対策を講じます。

(4) 国際理解教育の推進

小学校における英語教科化に備えたE L T等による語学指導の充実、姉妹都市オーストラリア・ソルズベリー市への中学生海外派遣事業の継続、帰国児童生徒及び外国人児童生徒への適応指導の充実等を通して、子どもたちが異なる文化に触れる機会を創出し、異文化を理解できる豊かな感性を育みます。

【平成28年度の取り組み】

- ・小学校における英語の教科化に備え、E L T配置時間の拡充など、指導の充実に努めます。
- ・中学生等海外派遣事業では、中学生28名、教員等3名の計31名を、姉妹都市オーストラリア・ソルズベリー市に派遣します。

基本方針2

心を育む人間教育の推進

(1) いじめ・暴力行為等の問題への取り組みの徹底

「茂原市いじめ対応マニュアル」及び「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見に努めるとともに、その取組みを点検し、必要に応じて見直しを行うことで、子どもたち一人一人が安心して過ごせる学校づくりを推進し、いじめの根絶を目指します。

【平成 28 年度の取り組み】

- ・ いじめに対応する校内委員会を活用し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めます。
- ・ 関係機関との連携を図り、協力していじめへの対応を図ります。

(2) 道徳教育の推進

新たに特別の教科として位置づけられる「道徳」に対応するため、教員の指導力向上のための研修の充実、DVD等の映像教材の整備を図り、あいさつをはじめとする礼儀や規律を重んじ、人格や生命を尊重する態度を育みます。

【平成 28 年度の取り組み】

- ・ 若年層教員を中心に、道徳の指導法に関する実践的な研修を位置づけ、指導力の向上に努めます。
- ・ 全教育活動を通じて、豊かな人間関係づくりのためのコミュニケーション能力の育成に努めます。

(3) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

学校支援ボランティアの活動を促進し、学校における学習活動や環境整備、学校内外の安全確保等において、保護者や地域住民の参加を積極的に進め、学校・家庭・地域が一体となった子どもの教育を推進します。

【平成 28 年度の取り組み】

- ・ 夏休み子ども教室を開催し、地域ボランティアの積極的な活用により地域教育力の充実に努めます。
- ・ 各学校に登録しているボランティアの協力をあおぎ、交通安全対策や体験学習の充実に努めます。

(4) 青少年の健全育成と家庭教育の充実

青少年指導センターを中心に学校や警察、関係機関と連携し、巡回・補導・相談活動の充実に努め、青少年の非行防止活動を推進します。また、青少年に有害な環境の浄化活動に努めます。子どもたちの社会性や自立性を育む様々な活動を支援するとともに、子どもの人格形成の基礎づくりを担う家庭の教育機能向上を図ります。

【平成 28 年度の取り組み】

- ・ 青少年育成茂原市民会議、青少年相談員、子ども会等の活動を支援し、青少年の健全育成体制の充実に努めます。
- ・ 子ども会、子どもセンター等の活動を通して、青少年の奉仕活動・体験活動の推進に努めます。
- ・ 家庭教育の充実に努めるため、学習する機会を提供し、拡充に努めます。
- ・ 青少年が集まりやすい場所の巡回を強化し、関係機関と情報を共有しながら非行の防止や早期発見に努めます。

- ・しおりや広報紙の配布を通して、相談しやすい窓口となるように啓発活動に努めます。
- ・インターネット上にひそむ危険性の理解と有害情報から身を守る方法の普及を図り、事故防止に努めます。

(5) セーフティネットの構築

子どもの生命・身体の安全が損なわれるような事案が発生しないよう、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めるため、スクールカウンセラー・心の教室相談員等の配置に努めます。

【平成 28 年度の取り組み】

- ・心の教室相談員による相談活動の充実を図るとともに、小学校におけるスクールカウンセラー配置校の拡充のために関係機関との協議を進めます。
- ・校内の相談窓口の周知や意見箱の活用、定期的なアンケート調査や教育相談により、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めます。

基本方針 3

芸術・文化・スポーツの振興

(1) 芸術文化の創造と個性の伸長

美術館の優れた美術品の展示、企画展、また市民、小中高校生の発表の機会としての展示を行い、親しみのある美術館・郷土資料館づくりと鑑賞する機会の提供に努めます。文化協会の組織充実を図るとともに、市民の文化活動の意欲向上と発表の場を確保するため、文化祭を開催し、身近で親しみやすく、かつ優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供します。

【平成 28 年度の取り組み】

- ・茂原市文化協会の活動を広く周知するための広報活動を強化するなど組織の充実を図ります。また、多くの市民が参加できるよう実行委員会主体による文化祭を開催します。
- ・歌舞伎、能・狂言、文楽などの鑑賞会や小中学生の音楽鑑賞教室を開催し、芸術文化に触れる機会を提供します。
- ・市民に上質な映画を提供し、地域における文化活動の活性化を図ります。
- ・公民館まつり等を開催し、日頃の文化活動の発表の場を確保するとともに、市民に文化活動の情報を提供します。
- ・美術館では、「林功 日本画展」をはじめとした優れた美術品を展示する年 8 回の収蔵品展の開催と、市民美術展、小中学校作品展等の年 18 団体の展覧会の開催により、鑑賞と発表の機会を提供します。

(2) いつでも・どこでも・だれでも学べる場の提供

市民カレッジ等の各種講座の開催について、幅広い分野からの講師の選択に努め、現代の新しい情報をより身近に取り入れることのできる機会を提供します。

【平成 28 年度の取り組み】

- ・「城西国際大学公開講座」「市民カレッジ」等の開催により、地域にいながらにして新しい知識を得られる機会の提供に努めます。
- ・市民の要望に応じて、地域社会の一員として生活するために必要な知識や情報を提供する「職員出前講座」の普及を図ります。
- ・多様なニーズにあった主催教室を開催し、市民の学習意欲に応え教養および健康福祉の向上を図ります。
- ・美術館・郷土資料館では、美術実技講座、小学生講座、歴史セミナー、古文書講座等を随時開催し、作品を創り上げる機会や歴史を学ぶ機会の提供に努めます。

（３）変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学習支援

市民の学習ニーズは一段と多様化し、主体的な学習意欲が高まっている中で、今後の社会の要請に応え、各世代が生きがいを持って学ぶことのできる学習機会の拡充を図ります。

【平成 28 年度の取り組み】

- ・第 2 次茂原市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習推進協議会を活用し全庁的な推進体制の充実を図ります。
- ・国・各自治体の施設や関連機関等と連携を図り、市民の多様化するニーズに対応できるよう協力体制を整備します。
- ・生涯学習情報紙「ハロータウン」、生涯学習ハンドブック等により生涯学習に関する情報提供に努めます。
- ・生涯学習を担う指導者の確保と周知に努めます。

（４）スポーツ環境の充実

市民スポーツの活動拠点となる市民体育館等が、いつでも気軽に利用することができる充実した施設となるよう施設整備を図るとともに、良好な環境の維持に努めます。

【平成 28 年度の取り組み】

- ・市民体育館等の整備・充実に努めます。
- ・教育活動に支障の無い範囲で学校施設を地域に開放し、スポーツ・レクリエーションの普及を図ります。

（５）スポーツ・レクリエーションの普及

スポーツ・レクリエーションを通して市民の健康づくり、体力づくりを推進するとともに、スポーツを活用した地域づくりを推進するため、総合型地域スポーツクラブの創設を支援します。

【平成 28 年度の取り組み】

- ・生涯スポーツを通じて市民の健康づくり、体力づくりを推進するため、タッチバレーボールの普及に努めます。

- ・総合型地域スポーツクラブの創設に向け、検討委員会を立ち上げます。

基本方針 4

茂原を愛する心の育成

(1) 地域を担う人材の育成

ふるさと茂原について学ぶ「茂原学」を教科等の年間指導計画に位置づけるとともに、地域にある事業所や公共施設における職場見学・職業体験の充実を図り、地域で働く人々と触れ合う体験を通して郷土を愛する心を育成します。また、社会教育・芸術文化関係団体の活動を支援し、指導者の発掘、育成に努めます。

【平成 28 年度の取り組み】

- ・児童生徒の発達段階に応じて、茂原市の歴史・伝統文化・産業・自然環境等の内容を社会科を中心とした学習に位置づけます。
- ・小学校 6 年で職場見学、中学校 2 年で職場体験を実施します。
- ・婦人会や子ども会等の社会教育関係団体の活動支援に努め、各団体を育成するとともに、指導者講習会や婦人学級研修会を開催し、指導者の発掘、育成を図ります。
- ・経済的理由により修学の困難な方に対して、必要な奨学資金を貸付することで有為な人材の育成に努めます。

(2) 安全・安心な教育環境の確保

公立学校施設は、児童生徒などが一日の大半を過ごす活動の場であることから、老朽化の進んでいる学校施設の整備・修繕等を計画的に行い、施設の安全性の確保を図るとともに、教育施設、建築設備の安全点検を定期的に行い、適正な管理に努めます。また、児童生徒の通学路の安全確保を図ります。

【平成 28 年度の取り組み】

- ・学校施設の整備・修繕等を行い施設の安全性の確保を図ります。
- ・本納公民館・本納支所複合施設の整備を進めるなど、社会教育・文化施設の適切な整備・維持管理に努めるとともに、設備等の充実を図ります。
- ・関係機関と協力し通学路の安全確保を図ります。
- ・安全・安心な給食を提供するため給食調理場の移転改築を検討します。

(3) 文化財・伝統文化の維持、保存、活用の推進

文化財の保護・保存を図るとともに、美術館・郷土資料館に展示し、文化財に対する理解を深め、郷土愛の育成に努めます。また、伝統芸能保存団体の発表の場を提供し、伝統文化への理解と愛着を深めます。市制施行 70 周年の市史発刊を目指します。

【平成 28 年度の取り組み】

- ・市内に現存する貴重な文化財を指定文化財として指定し、保護保存していきます。
- ・郷土芸能発表会を開催し、多くの市民に伝統芸能保存団体の活動の周知を図ります。
- ・郷土資料館の常設展示の他、「房総の先覚者」をはじめとする年 3 回のテーマ展等を開催

し、郷土愛の育成に努めます。

- ・市史編纂事業の4年目となる本年度からは、市史編纂委員の選任と委員会を開催し、市史発刊に向けてより具体的に進めてまいります。

(4) 学校・家庭・地域連携によるコミュニティーの形成

豊かな人間関係を育む地域コミュニティーをつくるため、学校・家庭・地域が連携した教育活動の充実を図るとともに、課題解決に向けて協働できる仕組みづくりをより一層進めます。

【平成28年度の取り組み】

- ・学校・家庭・地域が連携し、授業や学校行事への協力、地域行事への児童生徒の積極的な参加を通して、地域ぐるみで児童生徒を育てるよう努めます。

4 各施策の点検評価報告書

1 - (1) 学力の向上

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針1 社会を生き抜く力の育成	担当課	学校教育課
施策区分	(1) 学力の向上	記入者	松村暁雄

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある学校経営と創意ある教育課程の編成に努め、各教科及び総合的な学習の時間や特別活動において、多様な体験活動を推進する。 ・校長、教頭、教務主任、若年層教員の研修会や、茂原市教育研究協議会の研修において、自己の課題意識に基づいた自主的な研修を進め、教員の資質向上を図る。 ・一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に努める。 ・小中学校の適正規模の維持を図るため、適正配置について検討する。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校では計画的に体験活動を進めている。 ・喫緊の教育的課題に対応するため、各研修の充実にさらに図る必要がある。
求める成果	<p>問題解決的な学習を推進するとともに、学習支援員の配置、学校図書館の活用を通して、基礎・基本の定着と学んだことを活用し考え表現する力、自主的に学習する態度を育む。</p> <p>また、教員の経験年数に応じた参加型の研修を充実させることにより、教員の資質向上を図る。</p>

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	職場見学・職場体験の実施	小学生が職場見学、中学生が職場体験
	教育研究協議会の開催	年間3回 小274人、中167人、幼26人参加
	若年層教員育成研修の開催	年間3回、61人参加
	教務主任研修会の開催	年間3回、21人参加
	教育講演会の実施	年間1回、305人参加
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層教員育成研修では、経験7年目までの教員を対象に、「道徳」や「郷土愛」に関する研修を実施した。 ・特別支援教育に関する研修会を年間2回実施し、「合理的配慮」や「インクルーシブ教育システム」、「見え方、聞こえ方」等についての研修を実施した。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・時代のニーズに応じた研修の内容をさらに模索していく。 ・小中学校の適正配置については、市民委員等からなる審議会での審議を踏まえ、広く住民に周知を図りながら推進していく。 ・特別支援教育について、研修の内容や、特別支援教育支援員の配置についての充実に図っていく。 	

1 - (2) 幼児教育・保育の充実

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針1 社会を生き抜く力の育成	担当課	学校教育課
施策区分	(2) 幼児教育・保育の充実	記入者	鶴岡嘉孝

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な能力の育成を重視した教育課程を編成し、豊かな人間性を培う教育の推進に努める。 ・小学校への円滑な接続を図るための、幼小連携の体制づくりを推進する。 ・幼保一元化を見据え、幼稚園及び保育所の連携の推進に努める。 ・幼稚園の適正規模基準を定めるとともに4園の適正化について検討する。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校では、学区内の幼稚園や保育所との交流を進めるなど、連携を図っている。 ・幼稚園4園については、適正化について検討を続けている。
求める成果	<p>小学校に入学して集団行動ができない等の小1プロブレムを解消するため、基礎的な能力の育成を重視した教育課程を編成し、豊かな人間性を培う教育を推進するとともに、幼小連携を図る指導計画を作成し、幼児期から小学校生活に子どもがなじめるよう、就学前の教育・保育の充実を図る。</p>

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	豊かな人間性を培う教育	1クラス2名の教員を配置
	幼小の連携	園児と小学生の交流（1回/年）、小学校教師との意見交換（幼保連絡協議会で1回/年）
	幼保一元化	幼保連絡協議会の開催（実技講習1回、講演会1回、小学校教師の意見交換会1回）
	幼稚園4園の適正化	公立保育所・幼稚園整備計画の策定に伴い、中の島幼稚園、五郷幼稚園で説明会を実施（2回）
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校と幼稚園、保育所の連携が推進されることで、小1プロブレム等の不適應への対応が図られている。 ・幼保一元化と幼稚園4園への適正化について、検討が進められている。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性を培うため、幼児教育の充実をさらに図る。 ・小学校との連携をさらに図る。 ・幼保一元化と4園適正化について、さらに検討を続けていく。 	

1 - (3) 読書活動の推進

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針1 社会を生き抜く力の育成	担当課	学校教育課 生涯学習課
施策区分	(3) 読書活動の推進	記入者	藤乗裕喜 木島悦代

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本に親しむ意欲と態度を育成する読書活動の充実に努める。 ・学校司書の配置を段階的に進め、市立図書館と連携を図りながら、読書環境づくりに努める。 ・学校図書館活動の推進に向けて、司書教諭等を対象にした勉強会や情報交換の場として「学校図書館・市立図書館連絡会議」を開催する。 ・「（仮称）茂原市子ども読書活動推進会議」を設置し、第三次計画の進捗状況を点検すると共に、未達成な施策等に対策を講じる。
現状と課題	「第三次茂原市子ども読書活動推進計画」の初年度にあたり、学校、図書館、教育委員会が連携を強化するなど、子どもの読書活動推進体制の確立が求められている。
求める成果	「第三次茂原市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の総合的・継続的な推進を図るため、学校と図書館との情報交換等の場を設け、各学校の実態に合わせた読書環境づくりの改善に向けて、相互に協力する体制を整備する。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	茂原市子ども読書活動推進会議の設置及び開催	2回開催 委員6名参加
	茂原市立学校図書館・茂原市立図書館連絡会議の設置及び開催	1回開催 各小中学校図書担当教諭16名、図書館スタッフ2名参加
	学校司書の配置とデータベース化	モデル校4校（東郷、茂原、萩原、東部小）
	地方創生加速化交付金による調べる学習用図書の整備	調べる学習用図書54万円/校×21校
	「学校図書館用図書仕様書（小中学校別）」及び「資料収集方針・除籍方針」の策定	
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市子ども読書活動推進会議では、第三次茂原市子ども読書活動推進計画の進捗状況を点検すると共に、未達成の施策について、次年度に向けての方策を検討した。 ・茂原市立学校図書館・茂原市立図書館連絡会議では、各小中学校の図書担当教諭と市立図書館の実務担当者が学校図書館活動を推進するため情報の共有化に努めた。 ・調べる学習用図書の購入とデータベース化により、学校図書館の蔵書の充実と利便性の向上を図った。 ・モデル校に学校司書を配置し、学校図書館の環境整備や子どもたちに対する働きかけに取り組んだ。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も2つの会議を定期的で開催すると共に、関係機関の連携を図りながら子ども読書活動の推進に努める。また、データベース化を順次推進し、学校図書館の整備充実を図ることにより、子どもたちの豊かな学びを支え、子どもと本をつなぐ学校図書館へと発展させる。 ・学校司書の法制化に伴い、学校司書配置校の拡充を順次行い学校図書館の環境整備と学校図書館を活用した授業の推進を図る。 	

1 - (4) 国際理解教育の推進

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針1 社会を生き抜く力の育成	担当課	学校教育課
施策区分	(4) 国際理解教育の推進	記入者	鈴木 明

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> 小学校における英語の教科化に備え、E L T 配置時間の拡充など、指導の充実に努める。 中学生等海外派遣事業では、中学生28名、教員等3名の計31名を、姉妹都市オーストラリア・ソルズベリー市に派遣する。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 茂原小学校では、教育課程特例校の指定を受け、先進的な英語科・外国語活動の指導を行っているが、他の学校ではE L T を主体とした指導が行われている。 中学校では、オールイングリッシュによる授業を目指す他、中学生等海外派遣事業で実際に海外での体験を取り入れている。
求める成果	<p>小学校における英語教科化に備えたE L T 等による語学指導の充実、姉妹都市オーストラリア・ソルズベリー市への中学生海外派遣事業の継続、帰国児童生徒及び外国人児童生徒への適応指導の充実等を通して、子どもたちが異なる文化に触れる機会を創出し、異文化を理解できる豊かな感性を育む。</p>

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	小学校の英語の教科化への対応	小学校全14校をコーディネータが巡回し、担任が授業を行うことへのサポート
	E L T 配置事業の更新	小学校年間37回、中学校年間95～110時間の配置で、新規業者と契約
	中学生等海外派遣事業の継続	中学生28名をオーストラリアに派遣
	先進的な指導及びモジュールへの対応	茂原小学校で全学年での外国語の授業及びモジュールに対応したカリキュラムの実施
	オールイングリッシュへの対応	中学校7校中2校で実践、4校で取り組み。
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> 小学校における英語の教科化に備え、年度途中からコーディネーターを配置して、5・6年の担任が授業導入時の指導ができるよう取り組み、その成果が出てきている。 海外派遣については、28名の生徒が参加したが、学校により参加人数に差がある。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の英語・外国語活動の指導時数増加に備え、小学校教員の指導力の向上及びモジュールでの授業の構成の仕方について検討を進める。 中学校でのオールイングリッシュでの授業についての取組を進める。 中学生の海外派遣を継続していく。 	

2 - (1) いじめ・暴力行為等の問題への取り組みの徹底

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針2 心を育む人間教育の推進	担当課	学校教育課
施策区分	(1) いじめ・暴力行為等の問題への取り組みの徹底	記入者	松村暁雄

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> いじめに対応する校内委員会を活用し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。 関係機関との連携を図り、協力していじめへの対応を図る。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 定期的なアンケートおよび教育相談を実施し、いじめの早期発見、早期対応にあたっている。 関係相談機関との連携をさらに図っていく必要がある。
求める成果	「茂原市いじめ対応マニュアル」及び「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見に努めるとともに、その取り組みを点検し、必要に応じて見直しを行うことで、子どもたち一人一人が安心して過ごせる学校づくりを推進し、いじめの根絶を目指す。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	定期的なアンケートの実施	各学校とも年間2回以上実施
	定期的な教育相談の実施	各学校ともアンケートの実施を受け、児童生徒との面談を年間2回以上実施
	問題行動対策連絡協議会の開催	年間3回開催 指導センター、保護司も参加
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒へのアンケートは年間2回以上の実施が定着し、回答方法も記名式、無記名式、選択式と回答しやすいよう工夫している。 教育相談は面談相手を担任だけでなく、話しやすい教員も可とするなど、児童生徒が悩み等を話しやすい環境を整えつつある。 	
今後の方向性	「学校いじめ防止基本方針」を定期的に見直し、教職員の共通理解のもと、いじめや暴力行為への対応を進めていく。	

2 - (2) 道徳教育の推進

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針2 心を育む人間教育の推進	担当課	学校教育課
施策区分	(2) 道徳教育の推進	記入者	松村暁雄

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> 若年層教員を中心に、道徳の指導法に関する実践的な研修を位置づけ、指導力の向上に努める。 全教育活動を通じて、豊かな人間関係づくりのためのコミュニケーション能力の育成に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 年間3回の「若年層教員育成研修会」を実施し、教職経験7年目までの教員が参加する。 第2回の研修会では、東上総教育事務所指導主事を講師とし、映像教材の活用についての研修を実施する。
求める成果	新たに特別の教科として位置づけられる「道徳」に対応するため、教員の指導力向上のための研修の充実、DVD等の映像教材の整備を図り、あいさつをはじめとする礼儀や規律を重んじ、人格や生命を尊重する態度を育む。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	若年層教員育成研修会	年間3回実施 (教職7年目までの教員が参加)
	初任者研修で「道徳」についての研修を実施	教職7年目までの教員と共に、「道徳」映像教材の活用と評価についての研修実施
	豊かな人間づくりプログラムの実施	年間4時間のプログラムを、児童生徒に実施
	教育活動全体での道徳教育の実施	各教科や特別活動の年間指導計画に、道徳との関連を明記し、指導を実施
取組への評価	初任者研修も兼ね、東上総教育事務所の指導主事を講師に、61名の若年層教員が参加し、「道徳」について研修を実施することができた。	
今後の方向性	「道徳」の時間だけにとどまらず、学校生活全体を通して、児童生徒の豊かな心をはぐくむよう、指導の充実に努める。	

2 - (3) 学校・地域・家庭が一体となった教育の推進

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針2 心を育む人間教育の推進	担当課	学校教育課 生涯学習課
施策区分	(3) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進	記入者	松村暁雄 高橋宏和

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み子ども教室を開催し、地域ボランティアの積極的な活用により地域教育力の充実を図る。 各学校に登録しているボランティアの協力をあおぎ、交通安全対策や体験学習の充実を図る。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み子ども教室の実施校を増やしてボランティアの活躍の場を拡充する必要がある。 学校支援ボランティアに登録している方や、地域の老人会や自主的な活動の方が交通安全等の見守り活動に参加している。 各学校では学校支援ボランティアの協力を受け効果をあげているが、学校ごとに行っているため、統一的な基準がない。 様々な立場で見守りに参加していただいている方について、学校が十分把握するようさらに努める必要がある。
求める成果	学校支援ボランティアの活動を促進し、学校における学習活動や環境整備、学校内外の安全確保等において、保護者や地域住民の参加を積極的に進め、学校・家庭・地域が一体となった子どもの教育を推進する。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	夏休み子ども教室の実施	5小学校で開催（児童延べ814人、ボランティア延べ215人参加）
	学校支援ボランティアの活動	小学校：426人登録、中学校：73人登録
	学校支援ボランティアの登録状況把握	名簿の内容が最新のものになるよう確認
	地域人材の活用	学習補助や環境整備等での協力の増加
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み子ども教室の実施に際し多数のボランティアの協力を得た。参加児童とボランティアの交流に対する保護者の評価は高く、また、再度の参加を希望するボランティアも多いなど、利用者・ボランティア双方にとって有益な機会となった。 学校のニーズと学校支援ボランティアの活動が合致し、おおむね効果的に機能した。特に、本の読み聞かせ、交通指導は大きな効果をあげた。 交通安全に関しては、地域の多くのボランティアのご協力により、児童生徒の見守りが実施されている。 読み聞かせ活動等、読書活動の充実に関するボランティアの協力がなされている。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み子ども教室の実施校を増やしてボランティア活動の場を拡充するとともに、プログラムの構成を工夫しボランティアが一層活躍できる環境を整える。 教育課程や安全計画等に関連づけることで、教育活動への意図的・計画的な位置づけを図る。 地域の人材活用に向け、学校支援ボランティアの活用をさらに推進していく。 	

2 - (4) 青少年の健全育成と家庭教育の充実

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針2 心を育む人間教育の推進	担当課	生涯学習課 青少年指導センター
施策区分	(4) 青少年の健全育成と家庭教育の充実	記入者	森 康博 市原健一

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成茂原市民会議、青少年相談員、子ども会等の活動を支援し、青少年の健全育成体制の充実に努める。 ・子ども会、子どもセンター等の活動を通して、青少年の奉仕活動・体験活動の推進に努める。 ・家庭教育の充実を図るため、学習する機会を提供し、拡充に努める。 ・青少年が集まりやすい場所の巡回を強化し、関係機関と情報を共有しながら非行の防止や早期発見に努める。 ・しおりや広報紙の配布を通して、相談しやすい窓口となるように啓発活動に努める。 ・インターネット上にひそむ危険性の理解と有害情報から身を守る方法の普及を図り、事故防止に努める。
現状と課題	青少年育成茂原市民会議、青少年相談員、青少年指導センターを中心に青少年の健全育成を図っているが、少子化、核家族化、情報の氾濫等、青少年を取り巻く環境の変化に対応する必要がある。
求める成果	青少年指導センターを中心に学校や警察、関係機関と連携し、巡回・補導・相談活動の充実を図り青少年の非行防止活動を推進する。 また、青少年に有害な環境の浄化活動に努める。子どもたちの社会性や自立性を育む様々な活動を支援するとともに、子どもの人格形成の基礎づくりを担う家庭の教育機能向上を図る。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	各種大会の開催	ふぁみりーグラウンドゴルフ大会：120人、つつじマラソン大会：906人、少年の主張大会：291人、ジャンピング大会：568人
	奉仕活動・体験活動の推進	わくわくキャンプ研修：50人 親子で登山：44人
	子育て講座・家庭教育学級の開催	子育て講座 13回 683人参加 家庭教育学級 68回 2,555人参加
	街頭補導	実施回数：525回 (補導者：454人 補導参加者：1,241人)
	相談	214件（うち不審者18件）
取組への評価	各種事業を通して多くの参加者や運営に関わる役員等の参加により、青少年育成に関する理解が図られた。	
今後の方向性	各種事業の内容を検証し、改善を進めることでより多くの参加者の確保に努め、事業を通して、青少年健全育成の体制・事業の充実、さらには環境浄化と非行防止の推進を図る。	

2 - (5) セーフティネットの構築

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針2 心を育む人間教育の推進	担当課	学校教育課
施策区分	(5) セーフティネットの構築	記入者	鈴木 明

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> 心の教室相談員による相談活動の充実を図るとともに、小学校におけるスクールカウンセラー配置校の拡充のために関係機関との協議を進める。 校内の相談窓口の周知や意見箱の活用、定期的なアンケート調査や教育相談により、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 小学校におけるスクールカウンセラーの配置は2校、心の教室相談員の配置は4校となっている。 定期的なアンケート調査や教育相談は各学校で取り組まれており、いじめの早期発見につながっているが、回数を増やす等のさらなる改善が必要である。
求める成果	<p>子どもの生命・身体の安全が損なわれるような事案が発生しないよう、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めるため、スクールカウンセラー・心の教室相談員等の配置に努める。</p>

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	スクールカウンセラー配置校の拡充	中学校全校、小学校2校に配置
	各学校での教育相談の充実	アンケート調査回数 年2、3回：18校 4回以上：3校
	各学校での教育相談の充実	21校で相談窓口の周知
	各学校での教育相談の充実	21校で相談箱の設置
	心の教室相談員の配置	小学校4校に配置
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラーについては、平成29年度に配置校を1校増やすことができた。これに伴い、心の教室相談員の配置換えを行い、新たに1校に心の教室相談員を配置することができた。 教育相談や相談窓口の周知については、学校訪問等を通して現状の把握及び改善についての指導をすることができた。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラー配置のさらなる拡充に努める。 アンケート調査の方法や教育相談の方法についての情報交換を行い、各学校の取組内容の改善を図り、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。 	

3 - (1) 芸術文化の創造と個性の伸長

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針3 芸術・文化・スポーツの振興	担当課	生涯学習課、中央公民館 美術館、東部台文化会館
施策区分	(1) 芸術文化の創造と個性の伸長	記入者	東間一博、高中正典 舩田隆満、神代明子

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市文化協会の活動を広く周知するための広報活動を強化するなど組織の充実を図る。また、多くの市民が参加できるよう実行委員会主体による文化祭を開催する。 ・歌舞伎、能・狂言、文楽などの鑑賞会や小中学生の音楽鑑賞教室を開催し、芸術文化に触れる機会を提供する。 ・市民に上質な映画を提供し、地域における文化活動の活性化を図る。 ・公民館まつり等を開催し、日頃の文化活動の発表の場を確保するとともに、市民に文化活動の情報を提供する。 ・美術館では、「林功 日本画展」をはじめとした優れた美術品を展示する年8回の収蔵品展の開催と、市民美術展、小中学校作品展等の年18団体の展覧会の開催により、鑑賞と発表の機会を提供する。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市文化協会の組織充実と茂原市文化祭の充実が必要である。 ・市民を対象とした歌舞伎等の芸術鑑賞会、小中学生を対象とした音楽鑑賞教室を開催している。今後市民ニーズに対応した企画や活動補助の充実が求められている。 ・林功画伯の作品、鳩川誠一画伯の作品など、収蔵資料が充実し、優れた美術品の展示が可能となった。共催展示・文化祭等で美術展示室を使用するため、美術収蔵品展の常設展示ができない期間がある。 ・新しく有料の文化庁推薦「優秀映画鑑賞推進事業」を市民協働で実施。今後は、3年目を迎える無料映画を含め上映作品の選定が課題である。
求める成果	美術館の優れた美術品の展示、企画展、また市民、小中高校生の発表の機会としての展示を行い、親しみのある美術館・郷土資料館づくりと鑑賞する機会の提供に努める。文化協会の組織充実を図るとともに、市民の文化活動の意欲向上と発表の場を確保するため、文化祭を開催し、身近で親しみやすく、かつ優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供する。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	茂原市文化祭の開催	美術館・郷土資料館等10会場で開催、市長賞歴代作品展（小中学校絵画、書道）の開催
	茂原市文化協会の組織充実	新規団体加入（計25団体）、会報の発行
	小中学校音楽鑑賞教室、芸術文化鑑賞会	小中学校7校で開催、歌舞伎・能狂言・文楽・ミュージカル計6回開催
	映画の提供	大画面でみる映画会等（4日間）821人参加 優秀映画鑑賞推進事業（2日間）741人参加
	発表機会の提供	中央公民館まつり（2日間）450人参加 東部台文化会館まつり（2日間）2,517人参加
	美術収蔵品展の開催	林功展、鳩川誠一展等9回（31,793人）
	美術館各共催団体の展示	18回開催（32,803人）

<p>取組への評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市文化協会へ1団体が新規加入し25団体となった。65回目の茂原市文化祭の開催にあたり、市長賞歴代作品展（小中学校絵画、書道）を開催した。 ・小中学校音楽鑑賞教室は、各校独自の企画で開催し児童生徒から好評を得た。 ・芸術文化鑑賞会は、全6回開催し参加者から好評を得た。 ・収蔵美術品の目玉となる林功画伯、鳩川誠一画伯にスポットを当てた展覧会を開催し、特に鳩川誠一展は、地方創生加速化交付金を活用し、講演会の開催と新聞広告掲載等のPRにより、来館者の増加に努めた。共催展示の各日程を工夫し、広く市民の文化活動の発表の場として、より親しみやすい美術館・郷土資料館となるよう努めた。
<p>今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市文化協会の組織や広報活動の充実を図る。茂原市文化祭は茂原市文化協会と連携を図り来場者の増加に努める。 ・今後も郷土ゆかりの作家にスポットを当て、魅力ある展覧会の開催により、優れた美術品を鑑賞できる機会の提供に努める。 ・小中学校音楽鑑賞教室は、学校の意見をききながら事業の充実を図るとともに市内演奏家の活用に努める。 ・芸術文化鑑賞会は、市民ニーズに対応した企画立案を図る。

3 - (2) いつでも・どこでも・だれでも学べる場の提供

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針3 芸術・文化・スポーツの振興	担当課	生涯学習課、中央公民館 美術館、東部台文化会館
施策区分	(2) いつでも・どこでも・だれでも学べる場の提供	記入者	木島悦代、高中正典 舛田隆満、神代明子

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「城西国際大学公開講座」「市民カレッジ」等の開催により、地域にいながらにして新しい知識を得られる機会の提供に努める。 ・市民の要望に応じて、地域社会の一員として生活するために必要な知識や情報を提供する「職員出前講座」の普及を図る。 ・多様なニーズにあった主催教室を開催し、市民の学習意欲に応え教養および健康福祉の向上を図る。 ・美術館・郷土資料館では、美術実技講座、小学生講座、歴史セミナー、古文書講座等を随時開催し、作品を創り上げる機会や歴史を学ぶ機会の提供に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「城西国際大学公開講座」「市民カレッジ」については、市民のニーズに合った内容の提供が求められる。 ・職員出前講座については、市民生活に即した情報を提供する内容の充実が求められる。
求める成果	市民カレッジ等の各種講座の開催について、幅広い分野からの講師の選択に努め、現代の新しい情報をより身近に取り入れることのできる機会を提供する。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	芸術文化講座の開催	美術実技講座 5回 52人 郷土資料館講座 1回 15人 歴史セミナー 2回 計56人
	収蔵資料を閲覧できるホームページの作成	収蔵美術品約1,000点のうち約300点を公開
	各種講座の開催	城西国際大学公開講座 全6回 150人参加 市民カレッジ 全7回 273人参加
	職員出前講座および茂原学の開催	出前講座 32回 1,241人 茂原学 20回 513人
	主催教室の開催	公民館 22教室 2,344人参加 東部台文化会館 16教室 1,293人参加
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化講座は全8回の講座を開催し、多くの参加者を得た。 ・地方創生加速化交付金を活用し、収蔵資料のデジタル撮影と、収蔵資料を閲覧できるホームページを作成し、またこのホームページ利用促進パンフレットの作成を行い、いつでもだれでも学べる機会の提供とPRに努めた。 ・各公民館及び東部台文化会館で各種教室を開催し、市民の自主的な学習活動を支援した。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズに対応した企画立案を図り、今後も継続していきたい。 ・講師派遣事業等を積極的に活用し、幅広い内容の講座を提供することにより参加者の増加を含め充実を図る。 	

3 - (3) 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学習支援

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針3 芸術・文化・スポーツの振興	担当課	生涯学習課
施策区分	(3) 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学習支援	記入者	木島悦代

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> 第2次茂原市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習推進協議会を活用し全庁的な推進体制の充実を図る。 国、各自治体の施設や関連機関等と連携を図り、市民の多様化するニーズに対応できるよう協力体制を整備する。 生涯学習情報紙「ハロータウン」、生涯学習ハンドブック等により生涯学習に関する情報提供に努める。 生涯学習を担う指導者の確保と周知に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進協議会を活用し全庁的な推進体制の充実を図る必要がある。 国、各自治体の施設や関連機関等との連携を強化する必要がある。 ハロータウンや生涯学習ハンドブック等で生涯学習情報を提供しているが、利用者のニーズに応じた適切な情報を提供できる体制の整備が必要である。
求める成果	市民の学習ニーズは一段と多様化し、主体的な学習意欲が高まっている中で、今後の社会の要請に応え、各世代が生きがいを持って学ぶことのできる学習機会の拡充を図る。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	生涯学習推進協議会の開催	年2回開催
	生涯学習推進事業業績報告書の作成	生涯学習推進事業の検証
	ハロータウンの発行	年3回（広報7月、10月、1月）
	生涯学習ハンドブックの発行	年1回（5月、各公共施設に配布）
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進事業報告書を作成し、生涯学習推進協議会で現状と課題について協議し、今後の事業の方向性等の検討を行った。 生涯学習情報紙「ハロータウン」、生涯学習ハンドブック等により生涯学習に関する情報提供に努める。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、全庁で実施している生涯学習推進事業を実施報告書にまとめ、全庁的な推進体制の充実に努める。 指導者の確保に向け、講師登録と講師名簿の活用を図る。 	

3 - (4) スポーツ環境の充実

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針3 芸術・文化・スポーツの振興	担当課	体育課 生涯学習課
施策区分	(4) スポーツ環境の充実	記入者	中村勇人 高橋宏和

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民体育館等の整備・充実に努める。 教育活動に支障の無い範囲で学校施設を地域に開放し、スポーツ・レクリエーションの普及を図る。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民体育館は、施設の老朽化が激しく修繕を要する箇所が年々増えている。 各用具の旧式器具から新規器具への入替え、また環境美化が求められている。
求める成果	市民スポーツの活動拠点となる市民体育館等が、いつでも気軽に利用することができる充実した施設となるよう施設整備を図るとともに、良好な環境の維持に努める。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	市民体育館雨漏り補修工事	1,663千円
	市民体育館環境美化業務委託	1,048千円
	卓球台等体育器具購入	3,314千円
	市民体育館施設・体育器具等修繕	1,809千円
	学校施設の開放	体育館3,610回、運動場728回 延べ利用者数77,387人
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> 故障箇所の修繕及び安全性・利便性向上の工事を執行し、利用者の安全性・利便性に努めた。 昨年度に引き続き、環境美化・清掃業務委託を行い環境美化に努めた。 老朽化した体育器具を新規購入したことにより、利用者の利便性が図られた。 	
今後の方向性	今後も、老朽化に伴う故障等が発生することが想定されるため、適切な施設の維持管理に努め、計画的に修繕・工事を執行する。	

3 - (5) スポーツ・レクリエーションの普及

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針3 芸術・文化・スポーツの振興	担当課	体育課
施策区分	(5) スポーツ・レクリエーションの普及	記入者	古山茂成

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> 生涯スポーツを通じて市民の健康づくり、体力づくりを推進するため、タッチバレーボールの普及に努める。 総合型地域スポーツクラブの創設に向け、検討委員会を立ち上げる。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり、体力づくりを推進するため、タッチバレーボールやラジオ体操等、市民が気軽に参加できる施策が求められている。 スポーツを活用した地域づくりを推進するため、総合型地域スポーツクラブの創設に向けた計画の策定が求められている。
求める成果	<p>スポーツ・レクリエーションを通して市民の健康づくり、体力づくりを推進するとともに、スポーツを活用した地域づくりを推進するため、総合型地域スポーツクラブの創設を支援する。</p>

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	第2回もばらタッチバレーボール千葉県大会の開催	148チーム、728人の参加
	みんなでラジオ体操会&ファミリースポーツまつりの開催	337人の参加
	総合型地域スポーツクラブ設立検討委員会の立上げ・検討委員会の開催	検討委員会：3回開催、委員29名参加
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> タッチバレーボール大会やラジオ体操会&ファミリースポーツまつり等を始めとする各種大会やイベントを開催し、市民の健康づくり、体力づくりの推進に努めた。 総合型地域スポーツクラブ設立検討委員会を立上げ、クラブ創設の必要性について共通理解が図られた。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康づくり、体力づくりを推進するため、本市発祥のスポーツ「タッチバレーボール」を始めとする生涯スポーツの普及に努める。 地域スポーツの推進に努めるとともに、総合型地域スポーツクラブについては、検討委員会で本市の実情に適したクラブの設立に向けて引き続き検討する。 	

4 - (1) 地域を担う人材の育成

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針4 茂原を愛する心の育成	担当課	学校教育課 生涯学習課
施策区分	(1) 地域を担う人材の育成	記入者	鈴木 明 森 康博

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の発達段階に応じて、茂原市の歴史・伝統文化・産業・自然環境等の内容を社会科を中心とした学習に位置づける。 ・小学校6年で職場見学、中学校2年で職場体験を実施する。 ・婦人会や子ども会等の社会教育関係団体の活動支援に努め、各団体を育成するとともに、指導者講習会や婦人学級研修会を開催し、指導者の発掘、育成を図る。 ・経済的理由により修学の困難な方に対して、必要な奨学資金を貸付することで有為な人材の育成に努める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「茂原学」として、茂原市の歴史・伝統文化・産業・自然環境等の内容を学習するスタイルができてきているが、市役所担当課の出前教室が中心で各学校独自の年間指導計画にまでは発展していない。 ・社会教育関係団体では、会員数の減少、役員不足の傾向にあり、指導者の育成を図る必要がある。
求める成果	<p>ふるさと茂原について学ぶ「茂原学」を教科等の年間指導計画に位置づけるとともに、地域にある事業所や公共施設における職場見学・職業体験の充実を図り、地域で働く人々と触れ合う体験を通して郷土を愛する心を育成する。</p> <p>また、社会教育・芸術文化関係団体の活動を支援し、指導者の発掘、育成に努める。</p>

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	「茂原学」の出前教室の実施	小学校2校、中学校2校で実施
	「茂原学」の学校独自の指導計画の作成	半数の学校で独自の指導計画を作成
	職場見学・職場体験の実施	21校中17校で実施
	社会教育関係団体への助成	4団体 82万4千円
	各種研修会の開催（婦人会、子ども会）	全6回 103人参加
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・出前教室については、今年度、小学校2校、中学校2校にとどまった。 ・年間指導計画については、社会科を中心とする教科の中での実施となっている学校が多い。 ・職場見学・職場体験の未実施校は21校中4校であり、多くの学校で実施することができた。 ・補助金交付などによる活動支援とともに、役員不足や会員減少などの課題を抱えている婦人会や子ども会育成者を対象に講習会を開催し、人材の育成に努めた。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・出前教室については、講座の内容を見直し、実施拡大を図る。 ・学校独自の「茂原学」の実施について、教務主任研修等を活用し改善を図る。 ・職場見学・職場体験の実施拡大を目指す。 ・今後も引き続き、社会教育関係団体の活動支援に努め、指導者の育成を図る。 	

4 - (2) 安全・安心な教育環境の確保

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針4 茂原を愛する心の育成	担当課	教育総務課、学校教育課 生涯学習課
施策区分	(2) 安全・安心な教育環境の確保	記入者	川崎弘道、鈴木 明

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の整備・修繕等を行い施設の安全性の確保を図る。 本納公民館・本納支所複合施設の整備を進めるなど、社会教育・文化施設の適切な整備・維持管理に努めるとともに、設備等の充実を図る。 関係機関と協力し通学路の安全確保を図る。 安全・安心な給食を提供するため給食調理場の移転改築を検討する。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の、耐震化完了後、老朽化対策、トイレの洋式化等の推進が求められている。 社会教育施設等の老朽化対策が求められている。 通学路の安全点検確保のため、未整備個所の早急な対応が求められている。 調理場の老朽化対策、学校給食衛生管理基準に適合した施設の整備が求められている。
求める成果	<p>公立学校施設は、児童生徒などが一日の大半を過ごす活動の場であることから、老朽化の進んでいる学校施設の整備・修繕等を計画的に行い、施設の安全性の確保を図るとともに、教育施設、建築設備の安全点検を定期的に行い、適正な管理に務める。</p> <p>また、児童生徒の通学路の安全確保を図る。</p>

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	学校施設整備・修繕	工事：小学校28か所、中学校20か所、幼稚園3か所、修繕：計60か所、小破：計400か所
	本納公民館・本納支所複合施設の整備	平成28年度：基本・実施設計、工事契約完了 (平成29年度：工事实施、H30年度：開館)
	通学路の整備	危険個所238か所中、163か所改善済み
	茂原市学校給食センター建設	平成29年3月：PFI方式による施設整備の為、 債務負担行為の設定
	社会教育・文化施設の整備・修繕	工事：鶴枝公民館2か所、市民会館2か所、東部台文化会館2か所、美術館2か所、修繕：計30か所
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設整備では、雨漏り、危険個所等の整備に努めた。 本納公民館・本納支所複合施設の契約が完了し、工事に着手する。 通学路の安全確保のため、改善に努めた。未改善個所の早期改善に努める。 懸案であった給食調理場をPFI方式による実施が決定し、早期完成に向け進める。 	
今後の方向性	<p>今後も計画的に各施設の大規模改修に取り組むとともに、緊急性を要する修繕等は速やかに行い、安全安心な教育環境の充実に努める。</p>	

4 - (3) 文化財・伝統文化の維持、保存、活用の推進

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針4 茂原を愛する心の育成	担当課	生涯学習課 美術館
施策区分	(3) 文化財・伝統文化の維持、保存、活用の推進	記入者	東間一博 舛田隆満

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に現存する貴重な文化財を指定文化財として指定し、保護保存する。 ・郷土芸能発表会を開催し、多くの市民に伝統芸能保存団体の活動の周知を図る。 ・郷土資料館の常設展示の他、「房総の先覚者」をはじめとする年3回のテーマ展等を開催し、郷土愛の育成に努める。 ・市史編纂事業の4年目となる本年度からは、市史編纂委員の選任と委員会を開催し、市史発刊に向けてより具体的に進める。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国の天然記念物ミヤコタナゴ、ヒメハルゼミ発生地環境整備活動を地元住民や小学校と協力し実施した。引き続き生息地の環境整備や保護保存意識の高揚が求められる。また、市内に現存する文化財の調査を実施し散逸防止や保存活動が求められる。 ・七夕まつり開催中に郷土芸能発表会を開催し、お囃子や獅子舞などの郷土芸能の保存活動をしたが、演者の高齢化が課題となっている団体がある。 ・年間の常設展示の中で、国府関連遺跡の木製品、下太田貝塚の出土品などの収蔵資料を展示しているほか、テーマ展を開催。収蔵資料は17,000点と膨大であり、全てを展示するのは困難である。 ・市史編纂への基礎調査として古文書の調査、整理を進めるとともに、古文書講座の開催、古文書史料集の発行を行った。
求める成果	<p>文化財の保護・保存を図るとともに、美術館・郷土資料館に展示し、文化財に対する理解を深め、郷土愛の育成に努める。</p> <p>また、伝統芸能保存団体の発表の場を提供し、伝統文化への理解と愛着を深める。市制施行70周年の市史発刊を目指す。</p>

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	市指定文化財の新規指定、保護保存活動	藻原寺一塔両尊四土像、千葉県長生郡役所玄関（車寄）の指定、地元住民等との協働による天然記念物の環境整備
	郷土芸能発表会の開催	七夕まつりにて4団体が発表
	常設及びテーマ展の開催	(常設) 収蔵資料展示：47,086人 (テーマ) 年3回開催：46,971人
	古文書の調査整理、講座開催、史料集発行	予算542千円（調査員3人、23回・古文書講座9回開催、36人）
	市史編纂準備委員会開催	予算60千円 4回

<p>取組への評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元住民や小学生との協働により、環境整備や調査活動を行い、天然記念物の保護に対する意識の高揚を図った。 ・市指定文化財を2件指定し、公表することで文化財に対する理解を深めた。 ・郷土芸能発表会を開催し郷土芸能の保護保存を図った。 ・郷土資料館テーマ展を年3回開催し、できるだけ多くの収蔵資料の展示公開に努めた。 ・古文書目録を作成するとともに、貴重な史料については翻刻作業を行った。また、歴史伝承への理解を深めて頂くため、古文書講座を開催した。
<p>今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・天然記念物の保護は、環境整備活動により保護が図られていることから、地元住民等との協力体制の更なる充実を図る。また、市内に現存する文化財の調査、指定、保存をすすめる。 ・郷土芸能保存団体と協力し、郷土芸能発表会の充実を図る。 ・郷土資料館にて今後も広く文化財の展示公開に努める。 ・古文書については、所在の確認調査を行い、保存に努める。また、歴史伝承への理解を深めて頂くため、古文書講座を継続する。

4 - (4) 学校・家庭・地域連携によるコミュニティの形成

平成28年度茂原市の基本方針及び重点施策に基づく「点検評価報告書」

【政策・施策区分】

政策区分	基本方針4 茂原を愛する心の育成	担当課	学校教育課
施策区分	(4) 学校・家庭・地域連携による コミュニティの形成	記入者	鈴木 明

【施策の概要（年度当初）】

施策内容	・学校・家庭・地域が連携し、授業や学校行事への協力、地域行事への児童生徒の積極的な参加を通して、地域ぐるみで児童生徒を育てよう努める。
現状と課題	学校・家庭・地域の連携は進んでいるが、授業への参加や児童生徒の地域行事の参加については、改善すべき点がある。
求める成果	豊かな人間関係を育む地域コミュニティをつくるため、学校・家庭・地域が連携した教育活動の充実を図るとともに、課題解決に向けて協働できる仕組みづくりをより一層進める。

【当該年度の取組に対する評価】

	内容	活動指標
当該年度 主な取組	学校から地域への情報発信	21校全てでホームページの開設・更新
	地域人材を活用した稲作体験	14校中9校
	地域人材の活用	半数の学校において授業で活用
	児童生徒の地域行事への参加	全国学力・学習状況調査の結果では、小学校6年生で6割、中学校3年生で4割が参加
	地域の企業への職場見学・体験	21校中17校で実施
取組への評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの情報発信については、全ての学校でホームページでの発信を行っているが、学校だより等の配付は、一部の学校にとどまっている。 ・地域人材の活用については、多くの学校で地域人材の活用が進んでいる。 ・全国学力・学習状況調査の結果では、地域の行事に積極的に参加しているのは小学校で6割、中学校で4割にとどまっている。 	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの情報発信をさらに推進していく。 ・地域の人材活用については、学校支援ボランティアの活用をさらに推進していく。 ・PTAと小学校区の育成会の連携を図りながら、関係諸団体と学校との連携を強化していく。 	

教育委員会の点検・評価報告書（平成28年度事業対象）

発行日 平成29年4月

発行 茂原市教育委員会

編集 教育部教育総務課

〒297-8511 茂原市道表1番地

電話：0475-20-1557

メール：k-soumu1@city.mobara.chiba.jp